

静岡県^の財政状況

令和5年10月

静岡県



目 次

[説明資料関連ページ]

<“ふじのくに”の概況>	静岡県の人口・経済及び産業の状況	1	(6)
	静岡県に関する各種指標統計	2	(6)
<県政ビジョン>	令和4年度富士山静岡空港 就航先・搭乗率の状況	3	(20)
<静岡県の財政状況>	令和4年度一般会計 歳入決算の状況	4	
	令和5年度一般般会計 歳入予算の状況	5	
	一般会計 歳入決算の推移	6	(29)
	一般会計 歳入(県税)決算の推移	7	(30)
	令和4年度一般会計 歳出(分析別)決算の状況	8	
	令和4年度一般会計 歳出(款別)決算の状況	9	
	令和5年度一般会計 歳出(分析別)予算の状況	10	
	令和5年度一般会計 歳出(款別)予算の状況	11	
	一般会計 歳出決算の推移	12	(31)
	(参考)一般会計 歳出予算(最終)の推移	13	
	令和4年度 特別会計決算の状況	14	
	令和4年度 公営事業会計決算の状況(収益的収支)	15	(33)
	令和4年度 公営事業会計決算の状況(資本的収支)	16	(33)
	地方公社の状況	17-18	
	外郭団体の状況	19-20	
	今後の財政運営	21-24	(34)
	財政関係指標の推移(普通会計)	25-27	(32)
	財務諸表	28-34	
	県債残高の推移(一般会計、特別会計及び企業会計)	35	(36)
<静岡県の起債運営>	財政課所管基金の年度末残高の推移	36	
	減債基金への積立ての状況	37	(36)
	プライマリーバランスの推移	38	
	静岡県公募公債の発行状況	39	(39)

静岡県の人口・経済及び産業の状況

○静岡県の人口及び全国順位の推移

(単位：千人、%)

項目	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年 令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
静岡県人口数 (A)	3,749	3,735	3,723	3,705	3,700	3,688	3,675	3,659	3,644	3,633	3,608	3,582
全国順位	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
全国人口 (B)	127,799	127,515	127,298	127,083	127,095	126,933	126,706	126,443	126,167	126,146	125,502	124,947
本県シェア (A/B)	2.93	2.93	2.92	2.92	2.91	2.91	2.90	2.89	2.89	2.88	2.87	2.87

※各年度10月1日現在での推計人口（総務省統計局データ）による（平成27年度、令和2年度は国勢調査数値）。

○静岡県の名目県内総生産及び一人当たり県民所得の推移

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年 令和元年	令和2年度	令和3年度
名目県内総生産 (百万円)	16,545,650	16,645,980	16,993,602	16,971,867	17,521,963	17,656,197	17,898,886	18,139,097	17,866,284	17,105,232	16,329,370
全国順位	10	10	10	10	10	10	10	10	10	-	-
一人当たり県民所得 (千円)	3,073	3,118	3,251	3,224	3,359	3,365	3,422	3,448	3,407	3,110	3,242
全国順位	4	3	3	3	3	3	4	3	3	-	-

※令和元年度までの数値は、「県民経済計算 平成23年度-令和元年度 2008SNA、平成27年基準計数（内閣府経済社会総合研究所）」による。

※令和2年度の数値は、平成27年基準「令和3年度静岡県の県民経済計算(確報)」による。

※令和3年度の数値は、平成23年基準「令和3年度静岡県の県民経済計算(速報)」による。

○静岡県の製造品出荷額等の推移

(単位：億円、%)

項目	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年 令和元年	令和2年	令和3年
静岡県製造品出荷額等	143,915	157,077	156,991	160,507	164,125	161,322	167,871	175,395	171,540	164,513	172,905
全国順位	4	4	4	4	4	3	4	4	3	3	4
全国製造品出荷額等	2,765,616	2,887,276	2,920,921	3,051,400	3,139,360	3,021,852	3,190,358	3,318,094	3,225,334	3,020,033	3,302,200
本県シェア	5.2	5.4	5.4	5.3	5.2	5.3	5.3	5.3	5.3	5.4	5.2

静岡県に関する各種指標統計

区分	項目	平成30年	平成31年 令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
県勢基本	静岡県人口数（千人）	3,659	3,644	3,633	3,608	3,582
	全国順位	10	10	10	10	10
	合計特殊出生率	1.50	1.44	1.39	1.36	1.33
	全国順位	26	27	28	28	27
経済産業	名目県内総生産（億円）	181,391	178,663	171,052	163,294 速報値	
	全国順位	10	10	—	—	
	製造品出荷額等（億円）	175,395	171,540	164,513	172,905	
	全国順位	4	3	3	4	
	実質経済成長率（%）	1.3	△ 1.7	△ 4.9	4.8 速報値	
	全国数値（%）	0.2	△ 0.8	△ 4.1	2.2	
	医薬品生産額（億円）	6,721	8,382	8,384	6,998	R5.12公表予定
	全国順位	1	3	3	3	—
	医療機器生産額（億円）	3,587	4,022	3,654	3,391	R5.12公表予定
	全国順位	1	1	1	1	—
	化粧品生産額（億円）	1,776	1,805	1,298	1,132	1,176
	全国順位	3	5	5	5	4
	農業産出額（億円）	2,120	1,979	1,887	2,084	R5.12公表予定
	全国順位	16	17	19	15	—
	海面漁業・養殖業産出額（億円）	551	491	459	(R5.5月公表予定)	R6.5公表予定
	全国順位	6	7	7	—	—
ホテル・旅館数	2,928	2,841	2,760	2,654		
全国順位	1	3	3	4		

区分	項目	平成30年	平成31年 令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
経済産業	企業立地件数	67	78	54	49	52
	全国順位	4	2	3	4	4
	有効求人倍率	1.68	1.48	0.97	1.15	1.29
	全国数値	1.62	1.55	1.10	1.16	1.31
	完全失業率（%）	1.9	2.0	2.4	2.4	2.2
	全国数値	2.4	2.4	2.8	2.8	2.6
教育	大学・短大学生数（人）	38,648	38,839	38,631	38,462	38,354
	全国順位	15	15	15	15	14
	大学・短大等進学率（%）	53.0	52.0	53.4	53.9	55.8
	全国順位	19	22	20	24	23
環境	図書館数	97	96	95	95	95
	全国順位	—	—	—	—	—
健康福祉	エコアクション21認証登録事業者数（件）	1,019	996	967	972	973
	全国順位	1	1	1	1	1
	医療費（千円） （1人当たり）	312	329	320		
	全国順位（昇順）	9	10	11	—	—
	1日平均在院・外来患者数（人） （10万人当たり）	1,665	1,656	1,554	1,592	
	全国順位（昇順）	4	4	5	5	—
行政	生活保護率（%）	0.85	0.86	0.87	0.89	0.91
	全国順位（昇順）	10	11	11	11	11
行政	市町村への権限移譲対象法律数	126	125	128	126	
	全国順位	1	1	1	1	

令和4年度 富士山静岡空港 就航先・搭乗率の状況

路線		提供座席数(席)	搭乗者数(人)	搭乗率(%)	
国内線	新千歳線	94,634	65,807	69.5	
		ANA	33,034	19,744	59.8
		FDA	61,600	46,063	74.8
	丘珠線	FDA	34,812	24,900	71.5
	出雲線	FDA	55,308	35,311	63.8
	福岡線	FDA	234,176	139,739	59.7
	熊本線	FDA	60,080	29,410	49.0
	鹿児島線	FDA	59,264	38,275	64.6
	沖縄線	ANA	33,034	13,558	41.0
	チャーター便		3,688	2,629	71.3
国内線計		574,996	349,629	60.8	
国際線	ソウル線	チェジュ	1,134	965	85.1
	上海線	中国東方航空	0	0	-
	寧波線	中国東方航空	0	0	-
	杭州線		0	0	-
		北京首都航空	0	0	-
		中国東方航空	0	0	-
	南昌線	中国東方航空	0	0	-
	台北線	チャイナエアライン	0	0	-
	チャーター便		1,818	1,520	83.6
	国際線計		2,952	2,485	84.2
合計		577,948	352,114	60.9	

※国際線のうち、ソウル線以外の路線は、運休・欠航

※欠航便、ダイバート便(他空港への降客)、引き返し便を除く

■ 年度別搭乗者数

(単位:千人)

区分	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
国内線	352	316	266	251	293	305	309	335	375	425	462	117	188	350
国際線	176	239	146	196	166	244	390	276	295	289	276	0	0	2
合計	528	555	412	447	459	549	699	611	670	714	738	117	188	352

令和4年度一般会計 歳入決算の状況

(単位:百万円・%)

区 分	令和4年度 決算	令和3年度 決算	比 較	伸 率	構 成 比	
					令和4年度	令和3年度
歳 入 決 算 額	1,472,106	1,506,774	△ 34,668	△ 2.3	100.0	100.0
県税	497,656	487,431	10,225	2.1	33.8	32.4
地方消費税清算金	184,831	177,737	7,094	4.0	12.6	11.8
地方譲与税	71,188	61,492	9,696	15.8	4.8	4.1
地方特例交付金	2,316	2,383	△ 67	△ 2.8	0.2	0.2
地方交付税	184,828	208,160	△ 23,332	△ 11.2	12.5	13.8
交通安全対策特別交付金	1,032	1,168	△ 136	△ 11.6	0.1	0.1
分担金及び負担金	5,214	4,718	496	10.5	0.4	0.3
使用料及び手数料	15,484	15,588	△ 104	△ 0.7	1.0	1.0
国庫支出金	296,779	288,530	8,249	2.9	20.2	19.1
財産収入	2,386	1,721	665	38.6	0.2	0.1
寄附金	166	233	△ 67	△ 28.8	0.0	0.0
繰入金	18,006	21,868	△ 3,862	△ 17.7	1.2	1.5
繰越金	21,338	20,790	548	2.6	1.4	1.4
諸収入	23,872	20,068	3,804	19.0	1.6	1.3
県債	147,010	194,887	△ 47,877	△ 24.6	10.0	12.9

令和4年度一般会計 歳入予算の状況

(単位:百万円・%)

区 分	令和4年度 当初予算	令和3年度 当初予算	比 較	伸 率	構 成 比		
					令和4年度	令和3年度	
歳 出 規 模	1,364,366	1,309,400	54,966	4.2	100.0	100.0	
一 般 財 源 等	県税	481,000	447,000	34,000	7.6	35.3	34.1
	地方消費税清算金	171,577	168,735	2,842	1.7	12.6	12.9
	地方譲与税	66,000	42,800	23,200	54.2	4.8	3.3
	地方特例交付金	1,962	2,363	△ 401	△ 17.0	0.1	0.2
	地方交付税	183,500	166,900	16,600	9.9	13.4	12.7
	臨時財政対策債	32,000	113,800	△ 81,800	△ 71.9	2.3	8.7
	その他	23,349	27,230	△ 3,881	△ 14.3	1.7	2.1
	計	959,388	968,828	△ 9,440	△ 1.0	70.3	74.0
特 定 財 源	国庫支出金	213,856	167,719	46,137	27.5	15.7	12.8
	県債	99,267	99,943	△ 676	△ 0.7	7.3	7.6
	繰入金	55,088	39,411	15,677	39.8	4.0	3.0
	その他	36,767	33,499	3,268	9.8	2.7	2.6
	計	404,978	340,572	64,406	18.9	29.7	26.0

一般会計 歳入決算の推移

(単位: 億円・%)

区分	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
県税	5,412	4,178	4,017	3,979	4,063	4,232	4,478	4,883	4,903	4,990	4,838	4,730	4,569	4,874	4,977
構成比	47.3	34.4	34.4	34.6	35.2	35.9	37.4	39.8	40.3	40.6	40.6	39.2	33.2	32.4	33.8
地方交付税	1,161	1,484	1,683	1,640	1,647	1,555	1,556	1,515	1,594	1,456	1,470	1,459	1,569	2,082	1,848
構成比	10.1	12.2	14.4	14.3	14.3	13.2	13.0	12.4	13.1	11.9	12.3	12.1	11.4	13.8	12.5
国庫支出金	1,301	2,020	1,493	1,365	1,311	1,455	1,289	1,270	1,260	1,134	1,078	1,213	2,458	2,885	2,968
構成比	11.4	16.6	12.8	11.9	11.4	12.3	10.8	10.4	10.4	9.2	9.0	10.1	17.8	19.1	20.2
県債	1,837	2,340	2,197	1,952	2,051	1,989	1,859	1,456	1,472	1,799	1,649	1,675	2,168	1,949	1,470
通常債	1,437	1,506	657	716	781	692	619	580	656	962	855	1,046	1,519	1,068	1,048
特例債	400	809	1,518	1,221	1,259	1,284	1,211	838	750	743	751	605	611	850	399
病院債	—	25	22	15	11	13	29	38	66	94	43	24	38	31	23
構成比	16.1	19.3	18.8	17.0	17.8	16.8	15.5	11.8	12.1	14.7	13.8	13.9	15.7	12.9	10.0
その他	1,724	2,124	2,295	2,562	2,456	2,573	2,785	3,149	2,931	2,899	2,890	2,976	3,016	3,278	3,458
構成比	15.1	17.5	19.6	22.2	21.3	21.8	23.3	25.6	24.1	23.6	24.2	24.7	21.9	21.8	23.5
計	11,435	12,146	11,685	11,498	11,528	11,804	11,967	12,273	12,160	12,278	11,925	12,053	13,780	15,068	14,721

※県債のうち「特例債」は、臨時財政対策債

一般会計 歳入(県税)決算の推移

(単位:億円・%)

区分	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
個人県民税	1,510	1,492	1,344	1,324	1,371	1,468	1,484	1,494	1,451	1,502	1,241	1,211	1,232	1,255	1,235
構成比	27.9	35.7	33.5	33.3	33.7	34.7	33.1	30.6	29.6	30.1	25.7	25.6	27.0	25.8	24.8
法人二税	1,988	885	893	913	953	1,049	1,257	1,280	1,371	1,378	1,485	1,440	1,217	1,396	1,520
構成比	36.7	21.2	22.2	22.9	23.5	24.8	28.1	26.2	28.0	27.6	30.7	30.4	26.6	28.6	30.5
その他	1,914	1,801	1,780	1,742	1,739	1,715	1,737	2,109	2,081	2,110	2,112	2,079	2,120	2,223	2,222
構成比	35.4	43.1	44.3	43.8	42.8	40.5	38.8	43.2	42.4	42.3	43.6	44.0	46.4	45.6	44.7
計	5,412	4,178	4,017	3,979	4,063	4,232	4,478	4,883	4,903	4,990	4,838	4,730	4,569	4,874	4,977

(参考)

特別法人 事業譲与税	-	195	431	463	478	579	698	630	527	546	617	604	527	586	682
合計	5,412	4,373	4,448	4,442	4,541	4,811	5,176	5,513	5,430	5,536	5,455	5,334	5,096	5,460	5,659

令和4年度一般会計 歳出(分析別)決算の状況

(単位:百万円・%)

区 分		令和4年度 決算	令和3年度 決算	比 較	伸 率	構 成 比	
						令和4年度	令和3年度
歳 出 決 算 額		1,447,477	1,485,437	△ 37,960	△ 2.6	100.0	100.0
義務的経費	人件費	296,569	296,405	164	0.1	20.5	20.0
	扶助費	136,929	132,244	4,685	3.5	9.5	8.9
	公債費	190,847	185,063	5,784	3.1	13.1	12.4
	災害復旧費	6,061	6,098	△ 37	△ 0.6	0.4	0.4
	計	630,406	619,810	10,596	1.7	43.5	41.7
義務的経費以外	投資的経費	196,093	211,536	△ 15,443	△ 7.3	13.6	14.3
	公共・直轄	116,453	135,888	△ 19,435	△ 14.3	8.1	9.2
	単独等	79,640	75,648	3,992	5.3	5.5	5.1
	その他の経費	620,978	654,091	△ 33,113	△ 5.1	42.9	44.0
	計	817,071	865,627	△ 48,556	△ 5.6	56.5	58.3

令和4年度一般会計 歳出(款別)決算の状況

(単位:百万円・%)

区 分	令和4年度 決算	令和3年度 決算	比 較	伸 率	構 成 比	
					令和4年度	令和3年度
議会費	1,858	1,807	51	2.8	0.1	0.1
知事直轄組織費	13,592	70,617	△ 57,025	△ 80.8	0.9	4.8
危機管理費	33,712	53,367	△ 19,655	△ 36.8	2.3	3.6
経営管理費	32,322	36,727	△ 4,405	△ 12.0	2.2	2.5
くらし・環境費	8,253	7,970	283	3.6	0.6	0.5
スポーツ・文化観光費	44,133	19,432	24,701	127.1	3.1	1.3
健康福祉費	325,604	317,067	8,537	2.7	22.5	21.3
経済産業費	97,786	93,963	3,823	4.1	6.8	6.3
交通基盤費	134,437	146,691	△ 12,254	△ 8.4	9.3	9.9
警察費	81,198	78,323	2,875	3.7	5.6	5.3
教育費	247,854	241,715	6,139	2.5	17.1	16.3
災害対策費	6,515	6,560	△ 45	△ 0.7	0.5	0.4
公債費	190,847	185,063	5,784	3.1	13.2	12.5
諸支出金	229,366	226,135	3,231	1.4	15.8	15.2
計	1,447,477	1,485,437	△ 37,960	△ 2.6	100.0	100.0

令和4年度一般会計 歳出(分析別)予算の状況

(単位:百万円・%)

区 分		令和5年度 当初予算	令和4年度 当初予算	比 較	伸 率	構 成 比	
						令和5年度	令和4年度
歳 出 総 額		1,370,300	1,364,366	5,934	0.4	100.0	100.0
義務的経費	人件費	281,920	295,710	△ 13,790	△ 4.7	20.6	21.7
	扶助費	142,067	138,231	3,836	2.8	10.4	10.1
	公債費	191,235	191,144	91	0.0	14.0	14.0
	災害復旧費	23,972	10,690	13,282	124.2	1.7	0.8
	計	639,194	635,775	3,419	0.5	46.7	46.6
税収関連法定経費		237,281	222,758	14,523	6.5	17.3	16.3
義務的経費・ 法定経費・ 税収関連	投資的経費	186,737	193,484	△ 6,747	△ 3.5	13.6	14.2
	うち 公共・直轄	94,421	100,812	△ 6,391	△ 6.3	6.9	7.4
	うち 単独	92,316	91,374	942	1.0	6.7	6.8
	その他の経費	307,088	312,349	△ 5,261	△ 1.7	22.4	22.9
	計	493,825	505,833	△ 12,008	△ 2.4	36.0	37.1

※()内は政令市への移譲影響を除く額

令和5年度一般会計 歳出(款別)予算の状況

(単位:百万円・%)

区 分	令和5年度 当初予算	令和4年度 当初予算	比 較	伸 率	構 成 比	
					令和5年度	令和4年度
議会費	1,992	1,996	△ 4	△ 0.2	0.1	0.1
知事直轄組織費	6,444	6,545	△ 101	△ 1.5	0.5	0.5
危機管理費	6,676	6,462	214	3.3	0.5	0.5
経営管理費	34,935	32,127	2,808	8.7	2.5	2.4
くらし・環境費	11,154	9,175	1,979	21.6	0.8	0.7
文化・観光費	14,780	12,866	1,914	14.9	1.1	0.9
健康福祉費	320,078	329,563	△ 9,485	△ 2.9	23.4	24.2
経済産業費	84,274	90,406	△ 6,132	△ 6.8	6.2	6.6
交通基盤費	119,141	122,299	△ 3,158	△ 2.6	8.7	9.0
警察費	80,905	82,471	△ 1,566	△ 1.9	5.9	6.0
教育費	237,106	248,614	△ 11,508	△ 4.6	17.3	18.2
災害対策費	25,264	10,861	14,403	132.6	1.8	0.8
公債費	191,235	191,144	91	0.0	14.0	14.0
諸支出金	234,816	218,837	15,979	7.3	17.1	16.0
予備費	1,500	1,000	500	50.0	0.1	0.1
計	1,370,300	1,364,366	5,934	0.4	100.0	100.0

一般会計 歳出決算の推移

(単位:億円・%)

区 分	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
義務的経費	6,177	6,227	6,299	6,325	6,264	6,353	6,478	6,548	5,967	6,025	6,070	6,186	6,198	6,304	6,392
構成比	51.3	54.0	55.5	55.7	54.1	53.8	53.3	54.5	49.1	51.1	50.9	45.6	41.7	43.5	46.7
人件費	3,765	3,729	3,718	3,683	3,561	3,585	3,631	3,633	3,006	3,005	2,988	2,976	2,964	2,966	2,819
構成比	31.3	32.3	32.8	32.4	30.8	30.4	29.9	30.2	24.7	25.5	25.0	21.9	20.0	20.5	20.6
扶助費	724	774	810	851	888	929	1,003	1,050	1,101	1,147	1,204	1,273	1,322	1,369	1,421
構成比	6.0	6.7	7.1	7.5	7.7	7.9	8.3	8.7	9.1	9.7	10.1	9.4	8.9	9.5	10.4
公債費	1,678	1,697	1,715	1,714	1,776	1,799	1,812	1,848	1,849	1,842	1,832	1,844	1,851	1,908	1,912
構成比	13.9	14.7	15.1	15.1	15.3	15.2	14.9	15.4	15.2	15.6	15.4	13.6	12.4	13.1	14.0
災害復旧費	10	27	56	77	39	40	32	17	11	31	46	93	61	61	240
構成比	0.1	0.2	0.5	0.7	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1	0.3	0.4	0.7	0.4	0.4	1.7
投資的経費	1,921	1,734	1,628	1,688	1,912	1,705	1,572	1,570	1,729	1,762	1,924	2,196	2,115	1,961	1,867
構成比	16.0	15.1	14.3	14.9	16.5	14.5	13.0	13.1	14.2	14.9	16.1	16.2	14.3	13.6	13.6
公共・直轄	892	920	903	935	1,024	879	825	840	922	956	1,125	1,338	1,359	1,165	944
構成比	7.4	8.0	8.0	8.3	8.9	7.5	6.8	7.0	7.6	8.1	9.4	9.9	9.2	8.1	6.9
単独等	1,029	814	725	753	887	826	747	730	807	806	799	858	756	796	923
構成比	8.6	7.1	6.4	6.6	7.7	7.0	6.2	6.1	6.6	6.8	6.7	6.3	5.1	5.5	6.7
その他	3,942	3,580	3,422	3,347	3,398	3,743	4,086	3,901	4,453	4,008	3,938	5,190	6,541	6,210	5,444
構成比	32.7	31.0	30.2	29.4	29.4	31.7	33.7	32.4	36.7	34.0	33.0	38.1	44.0	42.9	39.6
計	12,040	11,541	11,349	11,360	11,574	11,801	12,136	12,019	12,149	11,795	11,932	13,572	14,854	14,475	13,703
形式収支 (歳入 - 歳出)	106	144	148	168	230	167	137	141	129	130	121	208	213	246	—
実質収支	57	58	56	60	112 (62)	58	57	55	50	50	52	136 (37)	54	153 (51)	—

※令和4年度以前は決算額、令和5年度は当初予算額

※各年度の決算は、前年度からの繰越を含み、翌年度への繰越を含まない。

※実質収支は、形式収支から翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた額

※平成25年度の実質収支の()書きは、平成26年度予算に計上している寄附金のうち、平成25年度に受け入れた50億円を除いた額

※令和2年度及び令和4年度の実質収支の()書きは、翌年度以降に国へ返還する新型コロナウイルス感染症関連交付金等を除いた額

(参考)一般会計 歳出予算(最終)の推移

(単位:億円・%)

区 分	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
義務的経費	6,205	6,261	6,351	6,345	6,285	6,389	6,476	6,562	6,022	6,058	6,146	6,249	6,226	7,447	6,392
構成比	50.3	53.9	55.2	54.2	54.5	53.4	53.3	53.5	49.0	50.4	50.1	41.7	39.6	51.8	46.6
人件費	3,778	3,749	3,734	3,722	3,575	3,604	3,643	3,645	3,024	3,024	3,012	2,996	2,982	2,988	2,819
構成比	30.7	32.3	32.4	31.8	31.0	30.1	30.0	29.7	24.6	25.2	24.6	20.0	18.9	20.8	20.6
扶助費	730	776	813	854	892	935	1,007	1,054	1,105	1,154	1,212	1,280	1,333	1,382	1,421
構成比	5.9	6.7	7.1	7.3	7.7	7.8	8.3	8.6	9.0	9.6	9.9	8.5	8.5	9.6	10.4
公債費	1,680	1,698	1,716	1,714	1,776	1,800	1,812	1,848	1,849	1,842	1,832	1,844	1,851	1,909	1,912
構成比	13.6	14.6	14.9	14.6	15.4	15.1	14.9	15.1	15.0	15.3	14.9	12.3	11.8	13.3	14.0
災害復旧費	17	38	88	55	42	50	14	15	44	38	90	129	60	1,168	240
構成比	0.1	0.3	0.8	0.5	0.4	0.4	0.1	0.1	0.4	0.3	0.7	0.9	0.4	8.1	1.8
税金関連法定経費	1,166	1,139	1,135	1,112	1,155	1,284	1,932	1,786	2,145	1,915	1,775	2,100	2,290	2,396	2,373
構成比	9.5	9.8	9.8	9.5	10.0	10.8	15.9	14.6	17.5	16.0	14.5	14.0	14.5	16.7	17.3
投資的経費	2,078	1,713	1,684	1,966	1,791	1,703	1,541	1,740	1,757	1,859	2,130	3,232	2,031	2,017	1,867
構成比	16.9	14.8	14.6	16.8	15.5	14.2	12.7	14.2	14.3	15.5	17.4	21.6	12.9	14.0	13.6
公共・直轄	987	983	941	1,196	886	866	800	968	967	1,051	1,300	2,243	1,242	1,166	944
構成比	8.0	8.5	8.2	10.2	7.7	7.2	6.6	7.9	7.9	8.8	10.6	15.0	7.9	8.1	6.9
単独等	1,091	730	743	770	905	837	741	772	790	808	830	989	789	851	923
構成比	8.9	6.3	6.4	6.6	7.8	7.0	6.1	6.3	6.4	6.7	6.8	6.6	5.0	5.9	6.7
その他	2,873	2,502	2,353	2,289	2,313	2,582	2,202	2,171	2,360	2,177	2,210	3,394	5,193	2,509	3,071
構成比	23.3	21.5	20.4	19.5	20.0	21.6	18.1	17.7	19.2	18.1	18.0	22.7	33.0	17.5	22.4
計	12,322	11,615	11,523	11,712	11,544	11,958	12,151	12,259	12,284	12,009	12,261	14,975	15,740	14,369	13,703

※令和4年度は当初予算

令和4年度 特別会計決算の状況

(単位:百万円)

区 分	会計の概要	歳入(A)	歳出(B)	差引(A)-(B)	差引の理由
公債管理	県債の償還金・利子の支払、県債管理基金への積立	451,103	451,103	0	—
自動車税等証紙徴収事務	自動車税及び自動車取得税の証紙徴収分の一般会計への振替	2,573	2,573	0	—
県営住宅事業	県営住宅の管理、修繕等	9,582	9,504	78	県営住宅の建替・修繕工事等における執行残及び翌年度繰越による
母子父子寡婦福祉資金	母子家庭等を対象とした生活資金、修学資金等の貸付	1,013	947	66	資金の借入需要が見込を下回ったことによる
心身障害者扶養共済事業	心身障害者への年金の支給	656	656	0	—
国民健康保険事業	国民健康保険の保険給付に要する費用の市町に対する交付等	345,211	334,121	11,090	保険給付費等交付金等における執行残及び翌年度繰越による
林業改善資金	林業及び木材産業の生産の高度化等を図るための資金の貸付	210	0	210	資金の借入需要が見込を下回ったことによる
沿岸漁業改善資金	沿岸漁業の振興を図るための資金の貸付	194	5	189	資金の借入需要が見込を下回ったことによる
中小企業高度化資金貸付事業等	中小企業の創業や経営基盤強化を支援するための資金の貸付	1,352	1,123	229	貸付金の償還額が見込を上回ったこと及び翌年度繰越による
清水港等港湾整備事業	清水港などの荷役機械・上屋の整備、維持管理	5,944	5,841	103	清水港港湾管理費等における執行残及び翌年度繰越による
物品調達事務等	本庁、出先における物品調達事務等	1,459	1,459	0	—
計		819,297	807,332	11,965	

令和4年度 公営事業会計決算の状況(収益的収支)

(単位:百万円)

区 分	事業の概要	収益的収支(損益勘定)			内部留保資金
		収入	支出	収支差引	
工業用水道事業	県下10市町の333事業所に工業用水を供給するため、柿田川、ふじさん(富士川、東駿河湾)、静清、中遠、西遠、湖西の6事業を実施	5,749	4,760	989	4,110
水道事業	県下10市町に長期的に安定した良質の生活用水を供給するため、駿豆・榛南・遠州の3事業を実施	7,064	6,306	758	4,703
地域振興整備事業	工場の再編整備、集団化や優良企業の誘致など地域発展のための工業用地の造成事業を市町の土地利用計画と整合を図りながら実施	1,586	1,577	9	8,776
静岡がんセンター事業	本県がん対策の中核を担う高度がん専門医療機関として病院、疾病管理センター、研究所を運営	42,329	42,700	△ 371	4,456
流域下水道事業	県下8市町の公共下水道から排除される下水を広域的に処理するため、狩野川東部及び狩野川西部の2事業を実施	5,120	4,662	458	989
計		61,848	60,005	1,843	23,034

令和3年度 公営事業会計決算の状況(資本的収支)

(単位:百万円)

区分	事業の概要	資本的収支(資本勘定)				収支差引
		収入	企業債	支出	企業債償還金	
工業用水道事業	県下6工業用水道事業で、送水管布設替工事等を実施(ふじさん等)	4,554	1,415	5,890	941	△ 1,336
水道事業	県下3水道事業で送水管布設替工事等を実施(榛南、遠州等)	4,824	225	7,406	1,013	△ 2,582
地域振興整備事業	富士大淵工業団地及び浜松坪井バイオマス発電施設関連用地の造成工事等を実施	1,437	0	217	0	1,220
静岡がんセンター事業	器械備品購入ほか	979	658	4,051	3,310	△ 3,072
流域下水道事業	県下2流域下水道事業で処理場設備更新工事等を実施	1,124	250	1,690	578	△ 566
計		12,918	2,548	19,254	5,842	△ 6,336

地方公社の状況① 改革計画への取組

団体名	これまでの成果(～R3)	各公社経営計画等での目標
静岡県 土地開発公社	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 事業規模に見合った定員管理に努めており、平成27年度以降、職員11名体制を維持 ◎ 国、県の用地先行取得業務を確実に受託 ◎ 受託用地事業の拡大については、平成26年度の県との協議により、県予算の許す範囲での対応となり、県事業を継続して受託 県内全市町に対して受託活動を継続実施し、市町事業の受託を拡大 ◎ 点検評価表を県ホームページで公開 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 公社経営の健全化 <ul style="list-style-type: none"> ・安定した事業量の確保 ・受託事業の確実な履行 ・積極的PR活動の強化 ◎ 業務執行体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・用地業務4班体制の維持 ・職員の幅広い専門的知識の習得(研修受講)やノウハウの継承 ・正規職員の計画的な採用や育成 ◎ 用地取得体制の効率化 <ul style="list-style-type: none"> ・県と公社が一体となった効率的な用地取得体制の確立
静岡県 道路公社	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 事業規模に見合った組織編成による効率化(職員数はH22年度の41人からR4年度の29人へと12人削減(約29%減)) ◎ 伊豆スカイライン・箱根スカイラインにおける運営改善のための料金所再編、料金体系変更等の検討 ◎ 関東圏等でのキャンペーン実施、国道交差点での電光表示板による案内情報の提供、観光・宿泊施設等へのロードマップの配布などによる誘客 ◎ SNSやマスメディアを活用した情報発信、「写真・動画コンテスト」の実施 ◎ 伊豆中央道江間交差点改築事業の完成(R2年7月供用開始) ◎ 伊豆中央道・修善寺道路におけるETCX導入によるキャッシュレス化(R3年7月導入) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 採算性の確保、償還の着実な実施 ◎ 企画割引の実施や他の事業者とのイベント協力などによる地域振興への貢献 ◎ 広報の実施による道路公社管理道路の認知度向上、新規利用者の獲得 ◎ 渋滞の改善、地域の交通の課題解決 ◎ 非接触型生活様式への対応、利用者の利便性の向上、利用台数の増加
静岡県 住宅供給公社	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 県営住宅等に入居する高齢者を対象としたテレフォン安心サービス(安否確認)、ふれあい講座、居場所づくり(血圧測定運動、集会所ミニ図書館設置等)、外国人を対象とした防災講座等を実施(※令和2～3年度はコロナ禍のため対面事業は中止、令和4年度から再開) ◎ 市町営住宅の管理代行を平成29年度に2市から受託開始し、令和3年度には7市町まで事業を拡大 ◎ 平成15年度から令和4年度まで20期連続で経常利益の黒字を確保 ◎ 業務量と業務内容に見合った定員管理に努め、平成29～30年度には業務量減少に伴い職員2人を減員(47→45人)、令和元～3年度には市町営住宅管理事業の業務量増加に伴い職員5人を増員(45→50人) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 快適な住環境の提供 県営住宅及び市町営住宅等の管理は、入居する高齢者、外国人、障害のある方に対する生活支援事業を充実しサービスを向上 ◎ 健全経営の維持 市町営住宅管理の受託を拡大し安定的な財源の増額を図ること等により、経常利益の黒字を継続し経営を安定化 ◎ 業務量に即した組織体制の確保 業務の量及び内容に即した職員を配置する組織体制を確保

地方公社の状況② 決算状況

(単位:百万円)

区 分		静岡県土地開発公社		静岡県道路公社		静岡県住宅供給公社			
		令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度		
出資状況	出資団体数	1	1	15	15	4	4		
	出資金額	本県出資額	20	20	7,523	7,523	10	10	
		その他団体出資額	—	—	22	22	5	5	
		計	20	20	7,545	7,545	15	15	
貸借対照表	資産	流動資産	3,352	3,444	5,497	4,912	1,747	1,705	
		固定資産	2,041	2,113	31,016	31,061	1,380	1,454	
		繰延資産	—	—	0	0	—	—	
		小計	5,393	5,557	36,513	35,973	3,127	3,159	
	負債	流動負債	251	157	152	128	443	527	
		固定負債	2,802	2,987	496	925	847	888	
		特別法上の引当金等	—	—	22,363	21,397	—	—	
		小計	3,053	3,144	23,011	22,450	1,290	1,415	
	資本	資本金	20	20	7,545	7,545	15	15	
		剰余金	—	—	5,957	5,978	1,822	1,729	
		法定準備金等	2,320	2,393	—	—	—	—	
		小計	2,340	2,413	13,502	13,523	1,837	1,744	
	計	5,393	5,557	36,513	35,973	3,127	3,159		
	損益計算書	経常損益	営業収益 (a)	2,008	2,158	2,099	1,905	2,501	2,412
			営業費用 (b)	2,039	2,184	2,141	2,996	2,410	2,372
営業利益 (c=a-b)			△ 31	△ 26	△ 42	△ 1,091	91	40	
営業外収益 (d)			29	29	73	1,081	6	151	
営業外費用 (e)			0	0	53	3	3	1	
経常利益 (f=c+d-e)			△ 2	3	△ 22	△ 13	94	190	
特別利益 (g)		—	—	—	—	0	0		
特別損失 (h)		—	—	—	—	1	0		
当期損益 (i=f+g-h)		△ 2	3	△ 22	△ 13	93	190		

外郭団体の状況① 経営状況

令和4年3月末現在

○全団体の状況

(単位: %、百万円)

形態	所管	出資割合50%以上				出資割合50%未満			
		出資法人	出資金額 (出資割合)	令和4年度 経常収支	資本又は 正味財産	出資法人	出資金額 (出資割合)	令和4年度 経常収支	資本又は 正味財産
財団・ 社団 法人	知事部局	(公財) 静岡県産業振興財団	7,123 (100.0)	▲ 1.3	7,923	(公社) 静岡県農業振興基金協会	2,000 (49.9)	▲ 5.0	2,111
		(一財) 静岡県労働福祉事業協会	2,194 (100.0)	▲ 56.4	1,401	(公財) 静岡県漁業振興基金	1,575 (48.0)	▲ 1.4	3,436
		(公財) 静岡県舞台芸術センター	1,220 (100.0)	▲ 30.8	1,363	(公社) 静岡県畜産協会	195 (37.8)	▲ 8.5	242
		(公財) 静岡県文化財団	900 (89.8)	▲ 27.6	1,258	(公財) 静岡県腎臓バンク	150 (48.9)	▲ 2.2	323
		(公財) 静岡県国際交流協会	797 (86.7)	▲ 3.0	968	(公財) 静岡県コンテナ輸送振興協会	35 (33.3)	1.5	110
		(公財) 世界緑茶協会	393 (100.0)	▲ 4.3	399	(公財) 静岡県生活衛生営業指導センター	3 (45.5)	1.1	132
		(公財) しずおか健康長寿財団	245 (77.0)	▲ 0.2	355				
		(公財) 静岡県障害者スポーツ協会	76 (75.4)	▲ 4.4	92				
		(公社) 静岡県農業振興公社	50 (50.0)	1.7	65				
		(公財) ふじのくに医療城下町推進機構	1,000(100.0)	9.9	1,034				
		(一財) アグリオープンイノベーション機構	3(100.0)	▲ 0.1	10				
		(一財) マリンオープンイノベーション機構	3(100.0)	▲ 20.9	133				
		(一財) 南アルプスみらい財団	3(100.0)	15.1	15				
		公安委員会	(公財) 静岡県暴力追放運動推進センター	660 (81.0)	0.2	921			
	教育委員会				(一財) 静岡県青少年会館	100 (40.0)	▲ 5.3	199	
地方公社		静岡県道路公社	7,523 (99.7)	▲ 21.8	13,502				
		静岡県土地開発公社	20 (100.0)	▲ 2.0	2,340				
		静岡県住宅供給公社	10 (66.7)	93.6	1,837				
会社法法人					天竜浜名湖鉄道(株)	39.7 (39.7)	▲ 320.4	196	
					(株)エイ・ピー・アイ	19.5(39.0)	4.5	202	

※「外郭団体」とは、「県の出資割合が25%以上の法人」又は「県が出資し、職員を派遣をしている法人」

<参考>

形態	地方独立行政法人	出資金額 (出資割合)	令和4年度 経常収支	資本又は 正味財産
地方独立 行政法人	静岡県公立大学法人	22,361(100.0)	120.9	18,559
	公立大学法人静岡文化芸術大学	16,810(100.0)	6.2	12,132
	静岡県立病院機構	6,823 (100.0)	497.3	15,902
	公立大学法人静岡社会健康医学大学院大学	920(100.0)	112.5	1,279

外郭団体の状況② 赤字法人の状況

令和4年度経常収支赤字法人

(単位:千円)

形態	出資法人	事業の概要	R4 経常収支	公益目的事業収支 (公益法人のみ)	経常収支が赤字の理由	今後の収支改善の見通し
公益法人	(公財) 静岡県産業振興財団	・中小企業等の産業創出支援、経営基盤の強化 ・科学技術研究開発の促進 ・新産業集積クラスターの推進	▲ 1,303	264	設備貸与事業等について、複数年にわたって収支バランス確保	基本財産運用益、受取地方公共団体補助金などを引き続き確保、事業経費等の効率化
	(一財) 静岡県労働福祉事業協会	勤労者福祉施設の管理運営	▲ 56,370	—	新型コロナウイルス感染症の影響、エネルギー価格の高騰に伴う光熱水費の負担増加に加え、施設改修を実施したことによる減価償却費の増及び改修に伴う営業休止中の収入減	事務局長と支配人を中心とした経営戦略会議を設置し、顧客ニーズに対応したプランの立案や効果的な営業活動・情報発信による利用者の確保及びR4年度に策定された「おとし荘新改革プラン」の確実な推進
	(公財) 静岡県舞台芸術センター	静岡県の芸術文化振興のための演劇、舞踊等の舞台芸術に関する創造活動等	▲ 30,813	▲ 38,108	事業収益、国補助金等の減	事業経費の効率化、見直しを実施
	(公財) 静岡県文化財団	各種文化芸術の振興及び国内外との交流促進による、個性豊かな県民文化の振興	▲ 27,576	▲ 36,492	新型コロナによる貸館利用者等の減や燃料費・物価の高騰のため	事業経費の効率化、見直しを実施
	(公財) 静岡県国際交流協会	国際理解・交流及び多文化共生の推進	▲ 2,981	▲ 2,831	剰余金を考慮して予算執行を行ったため	収支均衡の予算策定と執行
	(公財) 世界緑茶協会	世界の茶に関する情報の集積及び発信、茶文化の提案及び普及に関する事業の実施	▲ 4,297	▲ 5,080	R4実施の世界緑茶会議2022(3年に一度開催)の開催に伴う支出の増	事業経費の効率化、見直しを実施し、経営の健全化に努め、収支相償を満たす見込みである。
	(公財) しずおか健康長寿財団	高齢者をはじめとする県民の生きがいづくりと健康づくりを推進することにより明るく活力ある長寿社会の実現に寄与する事業	▲ 275	▲ 1,592	R2県補助金で購入した備品等の減価償却費	自主財源の確保の検討
	(公財) 静岡県障害者スポーツ協会	障害者スポーツの普及育成活動 障害者スポーツ大会の開催、派遣及び参加事業等	▲ 4,397	▲ 3,849	新型コロナ禍で事業を全面開催したことで感染症対策に係る費用が増加した一方、それに見合う収入がなく赤字が発生。	自主的な財源である会費収入について、コロナを契機に落ち込んだが、バリアリンピック及び東京デフリンピックを契機とし、会員、賛助会員、寄付金を新規で確保する。
	(一財) アグリオープンイノベーション機構	農林水産業及び関連産業分野における革新的な技術開発及び事業化を実現するオープンイノベーションの支援	▲ 64	—	研修機器の譲受けによる減価償却費の増	事業経費の効率化、見直しを実施
	(一財) マリンオープンイノベーション機構	マリンバイオテクノロジーを核としたイノベーションの推進、海洋産業振興と海洋環境保全の世界的拠点の形成	▲ 20,861	—	令和2年度の開所時に導入した設備及び備品の減価償却費の増	事業経費の効率化、見直しの実施及び収入確保
	(公社) 静岡県農業振興基金協会	生産性、収益性の高い農業の育成と経営意欲のある農業者等の育成及び魅力ある農村環境の整備に関する事業	▲ 5,046	▲ 4,829	助成事業の申請増による助成金の支出の増	事業経費の効率化、見直しを実施
	(公財) 静岡県漁業振興基金	漁業振興及び栽培漁業推進	▲ 1,390	▲ 1,299	事業の収入源は基本財産運用収入、負担金等であり、収入の増加は容易ではないため、収入に見合った事業規模に段階的に縮小する必要がある。	収入に見合った事業規模に段階的に縮小させるべく運用計画を作成し、実行している。
	(公社) 静岡県畜産協会	畜産農家等の経営診断、家畜の飼養管理及び家畜伝染病の予防事業、畜産物価格対策としての補給金・補填金の交付等	▲ 8,532	258	飼料高騰に伴う牛経営安定交付金発動の増	事業経費の効率化、見直しを実施
	(公財) 静岡県腎臓バンク	腎臓移植の普及促進に関する事業 臓器移植と腎臓病の知識普及に関する事業	▲ 2,236	▲ 999	前年度剰余金解消のため	企業訪問等による賛助会費、寄附金等の自主財源確保
	(一財) 静岡県青少年会館	青少年会館の運営	▲ 5,285	—	基本財産運用収入及び会議室等貸付収入の減	収入確保と経費削減の検討
公社	静岡県土地開発公社	道路、河川等用地の先行取得及び先行取得した土地の国、県、市町への売却 国、県、市町の道路、河川事業等に係る用地事務の代行	▲ 1,951	—	計画していた一部事業について事業者から委託が行われず、予定していた収入を確保できなかったため	国、県、市町等から、先行取得事業や用地事務の計画的な受託に努めることにより、安定的な経営を目指す
	静岡県道路公社	有料道路事業、一般自動車道事業及び高架下施設の管理・運営等	▲ 21,811	—	公衆トイレ建替に伴う解体費及び固定資産処分損による費用計上のため	有料道路の利用台数は回復しつつあり、黒字確保できる見込み
会社法人	天竜浜名湖鉄道(株)	地方鉄道線(天竜浜名湖線)の経営	▲ 320,384	—	新型コロナによる利用者の減 燃料高騰による内燃動力費の増	利用客増等による自主財源の確保

今後の財政運営①

1 収支均衡に向けた取組

令和4年度からスタートした、本県の総合計画「静岡県の新ビジョン後期アクションプラン」では、将来にわたって安心な財政運営を堅持するため、令和7年度までに財政調整用の基金を除いたその年度の歳入によってその年度の歳出を補う、収支が均衡した財政運営を目標としている

しかし、歳入面では、一般財源総額が原則として据え置かれる一方で、歳出面では、社会保障関係費や金利上昇に伴う公債費の増加、県有施設の電気料等の高止まりなどにより、現状のままでは、令和7年度の収支均衡の達成は難しい

<財政調整用の基金による補填額(年間ベース)>

(単位:億円)

区 分	R4決算	R5現計	R6	R7
財源不足額 (財政調整用基金による補填額)	△ 32	△ 468	△ 273	△ 91

試算の前提としている「歳入・歳出の見直し」だけでは、収支均衡の達成が困難なため、令和6年度当初予算編成に先立ち、全庁的に歳出のスリム化や歳入の確保に取り組むことで、令和7年度の収支均衡の達成を目指す

区 分	現 状(R4)	目 標
収支均衡	財源不足額 (財政調整用基金による補填額) △32億円	財源不足額 (財政調整用基金による補填額) 0
通常債残高	1兆5,962億円	上限1兆6,000億円程度
実質公債費比率	13.0%	18%未満
将来負担比率	240.0%	400%未満

2 試算の前提

令和4年度当初予算策定時試算

(1) 歳入

① 県税・地方交付税等

- ・ 県税等は、内閣府試算(令和4年1月「中長期の経済財政に関する試算」)におけるベースラインケースの名目経済成長率に基づき増加するものとして推計した。
- ・ 交付税は、一般財源総額が据え置かれる(特殊要因除き)と仮定し、県税等の増収見合いで地方交付税が減少するとして推計した。

② 県債

- ・ 資金手当債は発行しないものとし、その他は、歳出に連動して推計した。

③ 国庫支出金等

- ・ 歳出と連動して推計した。

(2) 歳出

① 義務的経費等

- ・ 人件費は、今後の増減員、退職者数の見込みに基づき推計した。
- ・ 扶助費は、高齢者人口の増加などを踏まえて推計した。
- ・ 公債費は、今後発行分の県債の利率を、令和4年度当初予算と同率で推計した。

② 税収関連法定経費

- ・ 税収と連動して推計した。

③ 新型コロナウイルス感染症対策関連事業

- ・ 今後の見通しが困難なため試算には含めない

④ その他の経費

- ・ 年次計画に基づく事業は計画額、その他の事業は令和4年度当初予算と同額とした。

今後の財政運営③

3 試算結果

令和4年度当初予算策定時試算

＜予算編成時＞

(単位:億円)

区 分		令和3年度 年間	令和4年度 当初	令和5年度	令和6年度	令和7年度
歳出	義務的経費	6,226	6,357	6,183	6,409	6,273
	うち扶助費	1,333	1,382	1,430	1,471	1,515
	税収関連法定経費	2,290	2,228	2,259	2,304	2,343
	投資的経費・その他の経費	7,225	5,059	4,431	4,378	4,313
	うち新型コロナウイルス感染症対策関連事業	2,404	766	0	0	0
	歳出の見直し	—	—	△ 40	△ 40	△ 40
	計	15,741	13,644	12,833	13,051	12,889
歳入	県税・交付税等	10,284	9,401	9,455	9,649	9,637
	県債	1,065	993	1,040	1,077	1,036
	国庫支出金等	4,187	2,793	2,116	2,073	2,086
	歳入の確保	—	—	40	60	80
	計	15,536	13,187	12,651	12,859	12,839
差引		△ 205	△ 457	△ 182	△ 192	△ 50

＜執行段階＞

効率的な予算執行等	—	70	70	70	70
-----------	---	----	----	----	----

＜年間＞

財源不足額 (財政調整用の基金による補填額)	△ 205	△ 387	△ 112	△ 122	20
翌年度以降に活用可能な基金残高	691	304	192	70	90

今後の財政運営④

令和4年度当初予算策定時試算

4 新ビジョンの目標値の推移

区 分	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収支均衡	[財源不足額] (財政調整用の基金による補填額) 0	["] △387億円	["] △112億円	["] △122億円	["] 20億円
県債残高 (通常債)※	1兆6,000億円程度を上限	1兆6,211億円	1兆6,106億円	1兆6,064億円	1兆5,995億円
実質公債費比率	18%未満	12.8%	12.9%	12.5%	12.3%
将来負担比率	400%未満	252.1%	243.8%	233.4%	231.5%

(注) 臨時財政対策債は「実質的な地方交付税」とされているため、通常債から除外
 病院債は、県立病院の独立行政法人化に伴う県債であり、償還財源の全てが病院事業により措置されるため、通常債から除外

財政関係指標の推移(普通会計)

(単位:%)

区分		平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
財政力 指数	本県	75.6	71.5	67.8	66.7	68.4	69.1	71.0	72.0	72.8	72.5	72.9	72.6	69.3	67.7
	全国	51.6	49.0	46.5	45.5	46.4	47.3	49.1	50.5	51.6	51.8	52.2	52.3	50.0	49.4
	順位	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
経常収 支率	本県	93.3	89.7	94.9	94.2	92.9	91.0	94.9	97.6	94.5	95.2	97.1	96.1	88.4	95.4
	全国	95.9	91.9	94.9	94.6	93.0	93.0	93.4	94.3	94.2	93.0	93.2	94.4	87.3	(集計中)
	順位	9	17	32	25	22	6	27	37	16	25	35	33	25	(集計中)
実質赤 字率	本県	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)
	全国	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	順位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
連 実質赤 字率	本県	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)
	全国	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	順位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
実 公 債 費 率	本県	13.1	14.3	15.3	15.0	14.9	14.5	14.0	13.5	13.4	13.4	13.8	13.5	13.1	13.0
	全国	13.0	13.5	13.9	13.7	13.5	13.1	12.7	11.9	11.4	10.9	10.5	10.2	10.1	(集計中)
	順位	16	20	24	25	27	26	26	27	33	36	40	39	38	38
将来負 担率	本県	262.6	251.8	248.2	241.1	239.1	229.8	223.1	228.0	238.4	240.2	242.5	248.7	230.9	240.0
	全国	229.2	220.8	217.5	210.5	200.7	187.0	175.6	173.4	173.1	173.6	172.9	171.3	160.3	(集計中)
	順位	32	36	35	35	37	36	36	38	40	40	39	41	42	41

※順位は、財政の健全性の高い都道府県から1位とした。

※指数及び比率の全国の数値は、総務省算定値

財政関係指標の推移(普通会計)

【財政力指数】

地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額(注1)を基準財政需要額(注2)で除して得た数値の過去3年間の平均値

(注1) 地方交付税の算定基礎となるもので、各地方公共団体が標準的な状態において徴収が見込まれる税収入を一定の方法により算定した額

(注2) 地方交付税の算定基礎となるもので、各地方公共団体が合理的かつ妥当な水準における行政を行い、又は施設を維持するための財政需要を一定の方法により合理的に算定した額

【経常収支比率】

地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、経常的経費に充当された一般財源の経常一般財源総額に対する割合

【実質赤字比率】

地方公共団体の財政運営の悪化度合いを示す指標で、当該地方公共団体の一般会計等(注3)を対象とした実質赤字額(注4)の標準財政規模に対する割合

(注3) 一般会計及び特別会計のうち普通会計に相当する会計

(注4) 実質赤字の額 = 繰上充用額 + (支払繰延額 + 事業繰越額)

【連結実質赤字比率】

地方公共団体全体としての財政運営の悪化度合いを示す指標で、すべての会計を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する割合

【実質公債費比率】

地方公共団体における公債費による財政負担の度合いを客観的に示す指標で、地方債元利償還金相当額(注5)に充当された一般財源の標準財政規模等に対する割合

(普通交付税の算定において災害復旧費等として算入されるもの及び元利償還金が事業費補正により算入されるものを除く)の過去3年間の平均値

(注5) 地方債元利償還金に公営企業の元利償還金への一般会計からの繰出金等を加えた額

【将来負担比率】

地方公共団体の一般会計等が将来負担すべき実質的な負債を表す指標で、地方債残高や、将来の公営企業への繰出見込額、退職手当の支給予定額、

第3セクターへの損失補償額等の合算額の標準財政規模等に対する割合

(普通交付税の算定において災害復旧費等として算入されるもの及び元利償還金が事業費補正により算入されるものを除く)

財政関係指標の推移(普通会計)

(単位:%)

区分		平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
自主財源比率	本県	57.3	55.9	56.2	55.4	54.7	46.8	46.0	47.8
	全国	55.9	53.6	45.4	45.0	54.2	50.4	47.0	集計中
	順位	7	7	8	8	8	12	10	集計中
地方税比率	本県	47.3	47.0	47.5	48.3	46.1	40.6	39.9	42.1
	全国	38.7	39.2	31.7	32.3	40.7	33.2	32.5	集計中
	順位	5	6	7	6	7	5	4	集計中
法人税比率	本県	11.0	11.9	11.8	13.2	11.3	9.4	9.8	11.0
	全国	8.4	9.3	7.1	7.6	9.6	7.5	7.7	集計中
	順位	5	5	5	5	5	5	3	集計中

【自主財源比率】

地方財政の自主性がどの程度発揮できるかを示す指標で、県が自主的に確保できる収入の歳入全体に対する割合

[地方税+分担金及び負担金+使用料及び手数料+財産収入+寄附金+繰入金+純繰越金(前年度実質収支)+諸収入]÷歳入合計

【地方税比率】

地方税収入の歳入全体に対する割合

【法人税比率】

地方税のうち法人二税(法人県民税・法人事業税)収入の歳入全体に対する割合

財務諸表① 一般会計等財務諸表の概要

貸借対照表

(単位：億円)

資産の部	R3	R2比 増減	負債及び 純資産の部	R3	R2比 増減
【資産の部】			【負債の部】		
固定資産	36,557	+898	固定負債	35,690	+569
有形固定資産	28,436	+185	地方債	33,478	+670
インフラ資産	19,710	+256	(うち臨時財政対策債)	12,769	+457
基金	6,207	+741	流動負債	1,762	+178
その他	1,914	△28	1年以内償還予定地方債	1,459	+162
流動資産	1,845	+180	(うち臨時財政対策債)	879	+21
			負債合計 B	37,452	+747
			純資産合計 C=A-B	950	+331
資産合計 A	38,402	+1,078	負債・純資産合計 B+C	38,402	+1,078

基金の増等による資産の増加が、負債（将来世代の負担）の増加を上回ったことによりこれまでの世代が形成してきた資産（純資産）が増加しました

○増減要因

- ・資産は、護岸等の整備によるインフラ資産の増加のほか、県債償還や交付税の追加交付等による基金の増加などに伴い、1,078億円増加しました。
- ・負債は、臨時財政対策債の発行等により地方債残高が増加したため、747億円増加しました。
- ・資産から負債を差し引いた純資産は、331億円増加しました。

○貸借対照表の分析を踏まえた今後の財政運営

- ・基金の増等により純資産が増加しましたが、厳しい財政環境が見込まれる中、引き続き健全財政を堅持する必要があります。
- ・臨時財政対策債は、資産の増加に寄与しないことから、今後も発行が継続する場合、負債の増加と純資産の減少が見込まれるため、国へ臨時財政対策債の廃止を求めています。
- ・県としては、原則として通常債の発行額が償還額を上回らないように管理し、通常債残高を1.6兆円程度に抑制していきます。

行政コスト計算書

(単位：億円)

科目名	R3	R2比 増減	科目名	R3	R2比 増減
経常費用	11,374	+727	経常収益	431	△19
業務費用	5,331	+66	使用料及び手数料	195	△4
移転費用	6,043	+661	その他（負担金等）	236	△15
補助金等	5,641	+670			
臨時損失	25	+13	臨時利益	8	+3
費用合計 A	11,399	+740	収益合計 B	439	△16
			純行政コスト A-B	10,960	+756

新型コロナウイルス感染症対策など資産形成につながらない行政サービス提供のための費用が増加し、税収や国庫等で賄うべき費用（純行政コスト）が増加しました

○増減要因

- ・費用は、ワクチン接種等の新型コロナウイルス感染症関連経費や、地方消費税交付金等の増加に伴い、740億円増加しました。
- ・収益は、宝くじ収入の減少などにより、16億円減少しました。
- ・費用から収益を差し引いた純行政コストは、756億円増加しました。

○行政コスト計算書の分析を踏まえた今後の財政運営

- ・新型コロナウイルス感染症関連経費の大半が国庫で負担されているものの、今後も社会保障関係経費やアフターコロナの取組等に必要な経費の増加が見込まれるため、徹底したビルド・アンド・スクラップによる歳出の見直しや、税源涵養等の歳入の確保に取り組めます。

(注) 貸借対照表に計上される資産は県所有分のみであり、国土交通省名義の河川や農地・林道・治山施設等は市町や土地改良区に譲与されるため、計上されない一方、これらの整備に活用した県債は負債に全て計上されています。これも資産と負債のバランスを崩し、純資産減少の構造的要因となっています。

財務諸表② 貸借対照表

貸借対照表では、主に県が保有している「資産」と、将来世代が負担する「負債」の状況が確認できます。

【貸借対照表】

(単位：億円)

	資産の部			負債及び純資産の部				
	R3年度	R2年度	増減	R3年度	R2年度	増減		
	【資産の部】			【負債の部】				
庁舎・県立学校・県営住宅などを計上	固定資産	36,557	35,659	898	固定負債	35,690	35,121	569
	有形固定資産	28,436	28,251	185	地方債	33,478	32,808	670
	事業用資産	8,531	8,606	△ 75	(うち臨時財政対策債)	12,769	12,312	457
	インフラ資産	19,710	19,454	256	退職手当引当金	2,138	2,234	△ 96
	物品	195	191	4	その他	74	79	△ 5
県道・橋りょう、空港などを計上	無形固定資産	11	13	△ 2	流動負債	1,762	1,584	178
	ソフトウェア	5	5	0	1年内償還予定地方債	1,459	1,297	162
	その他	6	8	△ 2	(うち臨時財政対策債)	879	858	21
	投資その他の資産	8,110	7,395	715	賞与等引当金	213	222	△ 9
	投資及び出資金	1,400	1,396	4	その他	90	65	25
	基金	6,207	5,466	741	負債合計	37,452	36,705	747
	その他	503	533	△ 30	【純資産の部】			
	流動資産	1,845	1,665	180	固定資産等形成分	38,034	36,936	1,098
	現金預金	316	277	39	余剰分(不足分)	△ 37,084	△ 36,317	△ 767
	未収金	56	112	△ 56	純資産合計	950	619	331
	基金	1,414	1,240	174				
県税や使用料などの未収金を計上	その他	59	36	23	負債・純資産合計	38,402	37,324	1,078
	資産合計	38,402	37,324	1,078				

全職員が年度末に退職すると仮定した場合に必要な金額

地方債+832
 通常債 +352
 臨時財政対策債 +478

翌年度の期末・勤勉手当の内、当年度発生分

財務諸表③ 行政コスト計算書

行政コスト計算書では、主に県が行政サービスを提供するために必要な「経常費用」と、サービスの対価として受益者が負担する使用料などの「経常収益」、またその差額に臨時損益を加えた「純行政コスト」が確認できます。

【行政コスト計算書】

(単位:億円、%)

科目名	R3年度	構成比	R2年度	増減	科目名	R3年度	構成比	R2年度	増減
経常費用					経常収益				
業務費用	5,331	46.9	5,265	66	使用料及び手数料	195	45.2	199	△ 4
人件費	2,916	25.6	2,989	△ 73	その他	236	54.8	251	△ 15
職員給与費	2,460	21.6	2,492	△ 32					
賞与等引当金繰入額	213	1.9	222	△ 9					
退職手当引当金繰入額	157	1.4	188	△ 31					
その他	86	0.8	87	△ 1					
物件費等	2,031	17.9	1,971	60					
物件費	781	6.9	718	63					
維持補修費	492	4.4	527	△ 35					
減価償却費	758	6.7	726	32					
その他の業務費用	384	3.4	305	79					
支払利息	219	1.9	242	△ 23					
その他	165	1.5	63	102					
移転費用	6,043	53.1	5,382	661					
補助金等	5,641	49.6	4,971	670					
社会保障給付	184	1.6	170	14					
他会計への繰出金	204	1.7	209	△ 5					
その他	14	0.1	32	△ 18					
経常費用 A	11,374	100.0	10,647	727	経常収益 B	431	100.0	450	△ 19
					純経常行政コスト A-B	10,943	-	10,197	746
臨時損失					臨時利益				
資産除売却損	24	96.0	12	12	資産売却益	3	37.5	5	△ 2
その他	1	4.0	-	皆増	その他	5	62.5	-	皆増
					臨時利益 D	8	100.0	5	3
臨時損失 C	25	100.0	12	13	収益計 F = B + D	439	-	455	△ 16
費用計 E = A + C	11,399		10,659	740	純行政コスト E - F	10,960	-	10,204	756

経常的に

補助金や社会

宝くじ収入等 △8

・新型コロナ対策関係経費 + 587
・税収関連法定経費 + 146

税収等の一般財源等で賄われるべき

財務諸表④ 純資産変動計算書、資金収支計算書

純資産変動計算書では、これまでの世代が形成してきた資産が、どれだけ増減したかが確認できます。

資金収支計算書では、1年間の現金の動きと年度末の残高（期末資金残高）を確認できます。

【純資産変動計算書】		(単位：億円)	＜資金収支計算書＞		(単位：億円)
科目名	金額		科目名	金額	
前年度末純資産残高 A	619	人件費・物件費・補助金支出などの支出と、県税・地方交付税などの収入による収支	I 業務活動収支 B - A	766	
純行政コスト	△ 10,960		1 業務支出 A	10,694	
財源	11,272	基金や公共事業などの収支	2 業務収入 B	11,460	
税収等	8,377		II 投資活動収支 D - C	△ 1,584	
国県等補助金	2,895	地方債の発行や償還などによる収支	1 投資活動支出 C	2,980	
その他	19		2 投資活動収入 D	1,396	
本年度純資産変動額 B	331	新型コロナウイルス対策関連 +529	III 財務活動収支 F - E	829	
本年度末純資産残高 A + B	950		1 財務活動支出 E	2,923	
			2 財務活動収入 F	3,752	
			本年度資金収支額	11	
			前年度末資金残高	219	
			本年度末資金残高 G	230	
			前年度末歳計外現金残高	58	
			本年度歳計外現金増減額	28	
			本年度末歳計外現金残高 H	86	
			本年度末現金預金残高 G + H	316	

プラスの場合
将来世代も利用可能な資源を貯蓄

マイナスの場合
将来世代が利用可能な資源を現世代が消費

財務諸表⑤ 指標で見た静岡県の財務状況

指標	R3年度	R2年度	指標の説明
県民1人当たり資産額	105万円	101万円	●県がこれまでに整備した土地・建物や、積み立てた基金、保有する現金などの全ての資産について、県民1人当たりではどのくらい保有しているのかを表しています。 【算式】 資産総額 / 住民基本台帳人口（年度末）
歳入額対資産比率	2.3年	2.4年	●県がこれまでに形成したストックとしての資産が、歳入の何年分に相当するかを表し、県の資産形成の度合いを把握することができます。 【算式】 資産総額 / 歳入総額
有形固定資産減価償却比率	70.9%	70.6%	●有形固定資産のうち、償却資産の取得額に対する減価償却累計額の割合です。この数値が大きいと所有している資産の老朽化が進んでいることを意味します。 【算式】 減価償却累計額 / 有形固定資産（償却資産のみ）
純資産比率	2.5%	1.7%	●純資産の変動は、将来世代と過去及び現世代との間で負担の割合が変動したことを意味します。 【算式】 純資産 / 資産合計
社会資本等形成の将来世代負担比率	74.1%	72.4%	●土地・建物などの公共資産を形成するために、県債など将来の負担が必要となる負債をどの程度活用したかを表しています。 【算式】 地方債（臨時財政対策債、減税補填債、臨時財政特例債、臨時税収補填債、減収補填債特例分を除く） / 有形・無形固定資産合計
県民1人当たり負債額	102万円	100万円	●県債などの負債が、県民1人当たりではどのくらいなのかを表しています。 ●県債は地方公共団体が、公共資産（道路、建物等）を整備する際に、世代間の負担の平準化等を図るために発行するものです。 【算式】 負債総額 / 住民基本台帳人口（年度末）
基礎的財政収支	31,639百万円	△23,443百万円	●税収・税外収入と、公債費を除く歳出との収支を表し、その時点で必要とされる政策的経費を、その時点の税収等でどれだけ賄えているかを示しています。 【算式】 業務活動収支（支払利息支出を除く） + 投資活動収支（基金収支を除く）
県民1人当たり純行政コスト	30万円	28万円	●県が資産形成に結びつかない行政サービスの提供に当たり、県民1人当たりではどのくらいのコストが必要かを表しています。 【算式】 純行政コスト / 住民基本台帳人口（年度末）
受益者負担比率	3.8%	4.2%	●行政サービス提供に対する直接的な負担の割合を算出した指標である。 【算式】 経常収益 / 経常費用

県債残高の推移(一般会計、特別会計及び企業会計)

(単位:億円)

区分	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
一般会計(A)	23,782	24,685	25,317	26,048	26,650	27,091	27,099	27,082	27,353	27,459	27,571	28,130	28,443	28,204	28,070
通常債	19,610	19,100	18,643	18,248	17,741	17,182	16,598	16,100	15,918	15,667	15,615	16,041	16,032	15,962	16,127
通常債以外	4,172	5,585	6,674	7,800	8,909	9,909	10,501	10,982	11,435	11,792	11,956	12,089	12,411	12,242	11,943
特別会計(B)	1,153	1,124	1,074	1,059	970	946	903	776	690	674	607	591	589	567	629
県営住宅事業	220	213	199	195	193	192	203	198	198	198	209	204	218	211	241
母子父子寡婦福祉資金	23	25	28	29	30	32	33	34	35	36	36	36	36	32	31
就農支援資金	8	9	10	10	12	12	10	-	-	-	-	-	-	-	-
中小企業高度化資金貸付事業等	274	260	236	220	194	178	167	165	86	86	88	86	80	72	75
清水港等港湾整備事業	262	260	251	263	263	258	256	271	272	267	274	265	255	252	282
流域下水道事業	361	357	350	342	278	274	234	108	99	87	-	-	-	-	-
県営林事業	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
企業会計(C)	851	822	794	763	733	700	696	662	617	581	624	590	560	527	541
県立病院事業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
がんセンター事業	469	466	457	445	432	416	428	412	381	354	325	301	281	254	262
工業用水道事業	141	133	125	117	111	106	99	94	90	88	90	95	99	104	118
水道事業	241	223	212	201	190	178	169	156	146	139	132	127	121	113	106
流域下水道事業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	77	67	59	56	55
計(A+B+C)	25,786	26,631	27,185	27,870	28,353	28,737	28,698	28,520	28,660	28,714	28,802	29,311	29,592	29,298	29,240

※県債残高の令和4年度以前は決算、令和5年度は6月補正予算後ベース

※通常債とは、臨時財政対策債、NTT無利子貸付金及び病院債を除いた県債

※平成16年度より県営住宅事業特別会計を設置

※県立病院事業会計は平成21年4月1日の地方独立行政法人化に伴い廃止。残高は一般会計に計上

※就農支援資金(平成22年度までは農業改良資金)は平成28年3月31日で廃止。残高は一般会計に計上

※流域下水道事業は令和元年度から企業会計に移行

財政課所管基金の年度末残高の推移

(単位:億円)

区 分	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
財政調整基金	88	88	89	89	89	89	89	89	89	89	89	89	89	89	57	37
県債管理基金	2,630	2,423	2,897	3,319	3,670	3,863	4,420	4,587	4,766	5,098	5,460	5,708	6,024	6,940	7,428	7,254
うち一般会計分	454	331	520	558	553	481	742	725	549	426	489	409	364	767	835	317
庁舎建設基金	3	3	3	3	3	3	59	59	56	56	56	0	—	—	—	—
土地開発基金	57	57	57	57	57	57	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大規模地震災害対策基金	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
合 計	2,797	2,590	3,065	3,487	3,838	4,031	4,587	4,754	4,930	5,262	5,624	5,816	6,132	7,048	7,504	7,310
うち一般会計分	621	498	688	726	721	649	909	892	713	590	653	517	472	875	911	373

※残高の令和3年度以前は決算、令和4年度は最終予算、令和5年度は当初予算

※大規模地震による災害が発生した場合、災害復旧等に要する経費として、各基金より大規模地震災害対策基金に繰入れることが可能であることを条例において規定

※土地開発基金は、平成27年3月31日をもって廃止し、基金残額のうち現金分56億円を庁舎建設基金に積立て、土地分1億円は管財課に所管替え

※庁舎建設基金は、令和2年3月11日をもって廃止し、基金残額56億円を県有建築物長寿命化等推進基金に積立て

減債基金への積立ての状況

3年据え置き後、県債発行額の3.7%(27分の1)を毎年積み立て

(単位:億円)

区 分	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
満期一括分残高(実償還ベース)	27,251	28,245	28,693	29,106	29,555	29,366	29,941	30,330	30,671	30,368
公募公債	23,800	24,400	24,640	24,840	25,638	25,708	26,089	26,603	26,853	26,456
銀行等引受債	3,451	3,845	4,053	4,266	3,917	3,658	3,852	3,727	3,818	3,912
積立残高	3,673	3,858	4,209	4,635	4,930	5,261	5,620	6,134	6,547	6,894

※ 令和4年度までは決算、令和5年度は当初予算

プライマリーバランスの推移

○臨時財政対策債は、地方交付税の振替であるため、一般財源として算定

(単位:億円)

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
歳入 A	11,528	11,804	11,967	12,273	12,160	12,278	11,925	12,053	13,780	15,068	14,721
県債	2,051	1,989	1,859	1,456	1,472	1,799	1,649	1,675	2,168	1,949	1,470
通常分 B	792	705	648	618	722	1,056	898	1,070	1,557	1,099	1,071
臨時財政対策債	1,259	1,284	1,211	838	750	743	751	605	611	850	399
財源不足額 C	35	101	40	18	205	151	40	105	70	40	32
差引 D(A-B-C)	10,701	10,998	11,279	11,637	11,233	11,071	10,987	10,878	12,153	13,929	13,618
歳出 E	11,360	11,574	11,801	12,136	12,019	12,149	11,795	11,932	13,572	14,854	14,475
公債費 F	1,714	1,776	1,799	1,812	1,848	1,849	1,842	1,832	1,844	1,851	1,908
差引 G(E-F)	9,646	9,798	10,002	10,324	10,171	10,300	9,953	10,100	11,728	13,003	12,567
プライマリーバランス H(D-G)	1,055	1,200	1,277	1,313	1,062	771	1,034	778	425	926	1,051

注1)各年度数値は決算額

注2)財源不足額は、財政課所管基金の取崩額

静岡県公募公債の発行状況

(単位:億円)

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
個別発行	5年債	500	400	600	300	400	400	400	700	600	800	900	1,000	1,100	1,100
	10年債	1,100	700	1,000	1,000	1,300	1,200	700	700	1,000	800	800	700	700	700
	15年債		100	200	200	300	200	100							
	20年定時				100	300	100	300	400	500	600	300	400	100	200
	20年債	200	300	400	200	100	400	300	400	200	200	200	200	200	200
	30年債	200	200	100	300	300	300	340	100	200	100	100	100		
	30年定時										100	200	100		
	グリーン ボンド									200	270	582		50	100
	外貨建て 国内債									200	270	582	114		
	年限未定														100
	合 計	2,000	1,700	2,300	2,100	2,700	2,600	2,140	2,300	2,900	3,140	3,664	2,614	2,150	2,400
共同発行	800	600	600	600	600	300	300	300	300	300	300	300	300	316	
総 計	2,800	2,300	2,900	2,700	3,300	2,900	2,440	2,600	3,200	3,440	3,964	2,914	2,450	2,716	

※令和4年度以前は決算、令和5年度は令和5年9月末現在

お問い合わせ : 静岡県 知事直轄組織 政策推進局 財政課

メールアドレス : zaisei@pref.shizuoka.lg.jp

静岡県IRサイト:

<http://www.pref.shizuoka.jp/governor/ir2002/index.html>

本県紹介動画 : <https://youtu.be/TSkTeB-KE40>

TEL : 054-221-2036

FAX : 054-221-2750